

その他

平成18年度採用臨床研修医オリエンテーション概要報告

青木昭子¹⁾, 西巻 滋²⁾, 渡會伸治²⁾,
古川政樹³⁾, 長谷川 修⁴⁾, 鈴木範行⁴⁾,
今田敏夫⁵⁾, 杉山 貢⁶⁾, 後藤英司⁷⁾

- ¹⁾ 横浜市立大学附属病院 臨床研修センター副センター長 ²⁾ 同プログラム副責任者,
³⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター プログラム責任者 ⁴⁾ 同プログラム副責任者,
⁵⁾ 横浜市立大学附属病院長 ⁶⁾ 横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長,
⁷⁾ 横浜市立大学附属病院 臨床研修センター長

要 旨:平成16年度に「新たな臨床研修制度」が始まり、自校出身者の大幅な減少、研修医出身大学の多様化がおこり、新研修医オリエンテーションの重要性が増した。本年度4月新制度3回目のオリエンテーションを実施したので概要を報告する。医師67名（附属病院31名、センター病院36名）、歯科医師4名がオリエンテーションに参加した。2病院合同のオリエンテーションは4月3～7日の5日間、各病院のオリエンテーションは4月10日から4または5日間実施された。4月8日または9日には55名がBasic Life Supportのトレーニングに参加した。コミュニケーションの演習に重点を置くとともに、薬剤、医療機器、法律などの分野から多角的に医療安全を考える講義・演習・実習を充実させた。研修医の感想には、病棟に出る前の心構えができてよかった、グループ演習・実習が多く、研修医間の連帯感が深まった、様々な分野の講師の話しを聞くことができ、これから自分がやっている仕事の大変さを実感した、などがあった。

Key words: 研修医, オリエンテーション, 演習